

新年のごあいさつ

謹賀
新年



大府市長
岡村 秀人

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、健やかな新年を迎えられたこと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、リオデジャネイロオリンピックで、レスリング、柔道、ラグビーの3競技に出場された大府ゆかりの8選手の活躍ぶりに、市民の皆さまとともに大いに喜びや感動を分かち合うことができ、金メダルのまちとして、一層輝きを増し、全国に「大府」の名を発信できましたことを大変うれしく感じております。

この輝きを一過性のものとして終わらせることなく、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、本市では、至学館大学とリネットジャパン(株)とともに、使用済小型家電のリサイクルを促進し、オリンピック・パラリンピックで使用されるメダルを制作するプロジェクトを昨年10月にスタートさせました。この運動を全国の市町村に呼びかけ、国民運動に広げてまいりたいと考えておりますので、市民の皆さまには、使用済小型家電のリサイクル促進にご理解とご協力をお願いいたします。

さて、現在、全国的には少子高齢化に伴い、人口減少社会を迎えておりますが、本市におきましては、緩やかに人口が増加しており、昨年9月末に、9万1000人を突破しました。若い世代も多く、元気なまちを維持しておりますが、年々高まってきています保育需要、教育需要に的確に対応するため、さらなる子育て支援、教育支援の充実を図ってまいります。また、認知症予防などの健康増進事業や在宅医療・介護連携、循環パスの利便性の向上などを進め、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる「幸福社会」を目指した取り組みを推進するとともに、駅周辺の賑わいづくり、雨水対策などの政策課題に対し重点的に取り組んでまいります。

新しい年を迎え、市民の皆さまとともに新たな気持ちで、日本一元気な健康都市の実現に向けて、一所懸命努力してまいりますので、今後とも市政運営に一層のご協力をお願い申し上げます。今年も皆さまのますますのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

西



大府市議会議長 深谷直史

新年明けましておめでとございます。

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた平成29年の新春を晴れやかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、熊本地震をはじめ、全国各地で地震、台風などの自然災害による被害が数多く発生いたしました。幸い本市は、大きな災害に見舞われることなく、穏やかな一年となりましたが、災害はいつ発生するか予測ができません。市民の皆さまの安心・安全のために、防災・減災対策には、今年も、より一層力を入れて取り組んでまいりたいと思います。

また、昨年は、リオデジャネイロでオリンピック・パラリンピックが開催され、本市にゆかりのある選手が大活躍されました。特に、女子レスリングにおきましては、金・銀あわせて五つのメダルを獲得し、「金メダルのまち」で行われた祝勝パレードには、市内外から大勢の人が集まり、歓喜に沸きました。市議会においても、9月議会の初日に、出席者全員がゴールドイエローのポロシャツを着用し、選手の皆さまの活躍をたたえたとこ

ろであります。

さて、新しい年を迎え、市議会では、市民の皆さまの声を市政に反映するために、従来から行っているさまざまな取り組みを、今年も引き続き進めてまいります。各常任委員会においては、年間の研究テーマを設定し、関係団体の皆さまと意見交換を行っており、議会運営委員会においては、よりよい議会運営のための議論を重ねております。活動内容については、年4回発行しています「おおぶ議会だより」や、ホームページに掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。また、本会議や委員会の傍聴にも、多くの方にお越しいただきたいと思っております。

今後とも、議員一同、市民の皆さまが住み慣れたまちで、生涯にわたって安心して暮らせるために、課題解決に向けて全力を尽くしてまいりますので、ご協力をお願いします。心からお願ひ申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆さまにとって、実り多き年となりますことを心より祈念いたします。実り多き年となりますことを心より祈念いたします。実り多き年となりますことを心より祈念いたします。

本年もよろしくお願ひ申し上げます